

# 子供の未来を支える気持ちを共有するために！

〈「生きる力学びのその先へ」平成 29、30 年改訂学習指導要領を紹介するリーフレット～文部科学省～〉

平成 31 年 1 月 25 日、文部科学省は、平成 29、30 年の学習指導要領の改訂を受け、学習指導要領 Web の刷新（2 月 13 日）の告知及び、学習指導要領の改訂主旨等を紹介したリーフレットの PDF データを公開した。本リーフレットは、保護者や地域の方々に向け、新学習指導要領の核となる部分を分かりやすく説明している。

平成 29、30 年改訂学習指導要領を紹介するリーフレットの概要（全日教連要約・抜粋）

## 〈 学習指導要領に込められた願い 〉

- 学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい
- これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい 等

## 生きる力 学びの、その先へ

これまで大切にされてきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わらない。一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指す。

## 〈 保護者の皆さまへのメッセージ 〉

子供たちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、とても大切です。お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。保護者の皆さまの働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。 (原文のまま)

## 〈 子供たちの学びは、どう進化するのか 〉

**主体的・対話的で深い学び** (アクティブ・ラーニング)  
「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視した授業

**「カリキュラム・マネジメント」**  
教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図る

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、  
左の3つの力をバランス良く育む



## 〈 新たに取り組むこと、これからも重視すること 〉

- プログラミング教育 ○ 外国語教育 ○ 道徳教育 ○ 言語能力の育成 ○ 理数教育
- 伝統や文化に関する教育 ○ 主権者教育 ○ 消費者教育 等

### 【新設される教科等】

《小学校》・特別の教科 道徳 ・外国語（5・6年生） ・外国語活動（3・4年生）  
《中学校》・特別の教科 道徳 《高等学校》 ・理数 ・総合的な探求の時間

※ 本プランの詳細につきましては、右のQRコードや下のURLから閲覧できます。是非御覧ください。  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm)



本年 1 月に発出された「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」において、文部科学省には、“学校と社会の連携の起点・つなぎ役としての機能を十二分に果たすこと”が求められた。本リーフレットには、日本が目指す教育を示すとともに、保護者へのメッセージにある通り、「教育のもととなる力（原動力）が家庭」であることが明記され、まさに文部科学省が、社会と学校のつなぎ役としての役割を果たそうとする姿の表れである。現場において、是非活用してほしい。  
なお、文部科学省の学習指導要領 Web サイトは、2 月 13 日にリニューアルされ、従来の Web ページの一部 URL が削除・変更される予定である。必要な情報がある場合には、事前にダウンロード等しておくことを勧める。